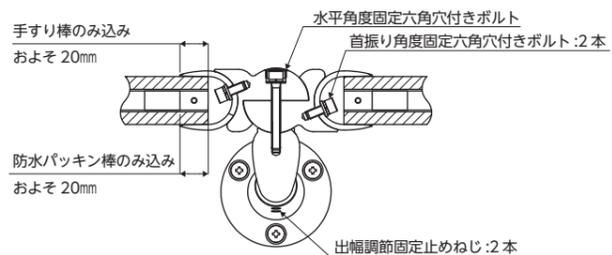
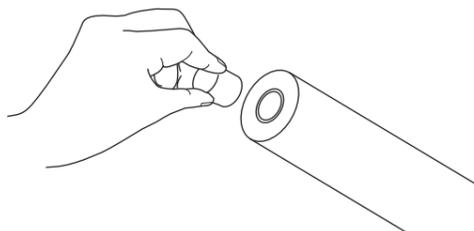


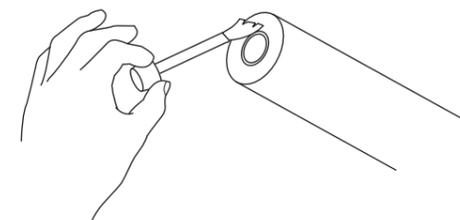
## 直受フレキシブルブラケットと手すり棒の固定方法



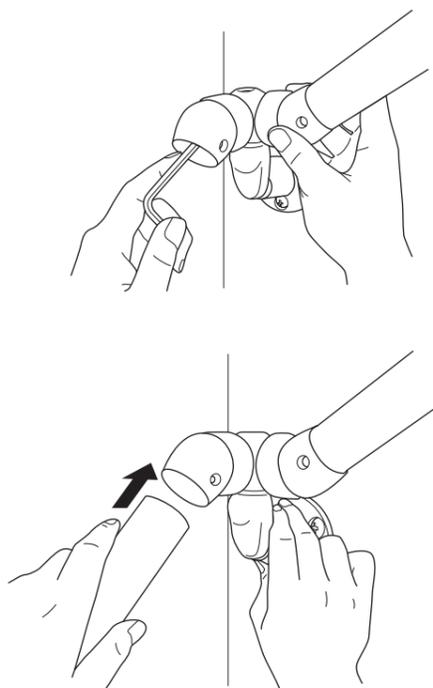
- 1** 手すり棒端部芯材に防水パッキンを挿入します。(およそ20mm挿入)直棒手すりには不要です。



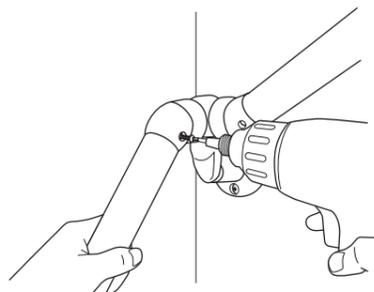
- 2** 手すり棒小口部に錆び止めローバル(別売)を塗布します。



- 3** 直受フレキシブルブラケットの首振り角度を再度調整し、六角穴付きボルトを本締めして、手すり棒をブラケットに挿入します。(のみ込みはおよそ20mm)

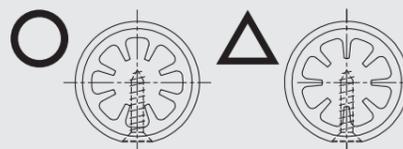


- 4** φ3.3mmの下穴を開け、皿ドリルねじで締め付けます。

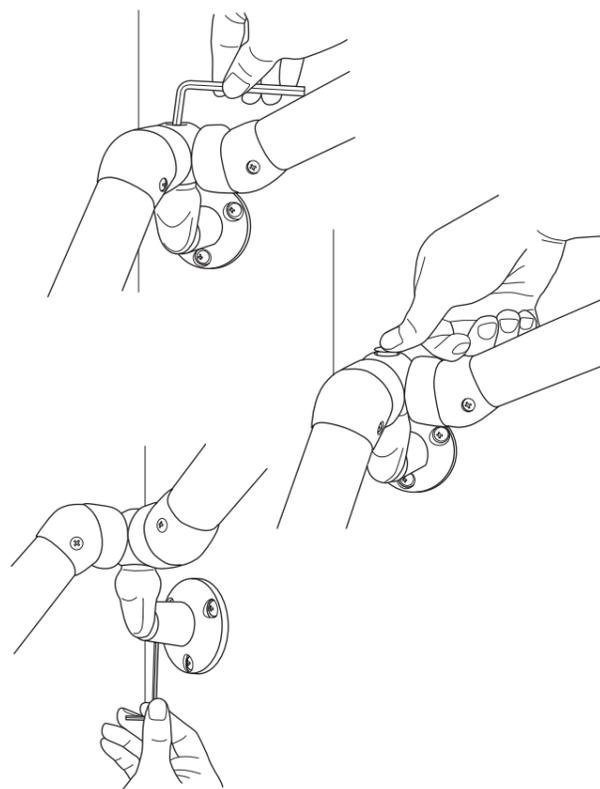


■ねじ止めの穴位置は180度回転できます。ねじを止め易い位置に、ねじ穴を回すと作業し易くなります。

■直棒手すりとの固定方法は手すり棒と同様です。防水パッキン、錆び止めローバル(別売)は不要です。○図のように取付けねじはリップを避けた位置で固定を行うと施工しやすくなります。



- 5** 最後に直受フレキシブルブラケット中心部の六角穴付きボルトを本締めして、キャップをはめこみ、ベース部の六角穴付き止めねじを本締めして完了です。



BAUHAUS

**FreeR-rail**

住宅用屋外手すり フリーRレール

## 施工要領書

直受フレキシブルブラケット (BJ-40ST)  
(BJ-88DB)

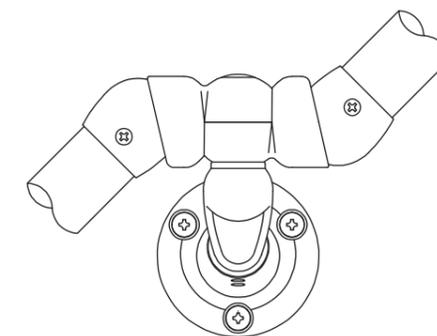
このたびは当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの要領書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】  
施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】  
この要領書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの要領書をお渡しください。

### 本品の特徴

壁際のコーナー部の納まりに使用します。  
直棒手すりの場合の勾配のある納まりにおいても使用可能です。



**マツ穴株式会社**

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号  
TEL 06-6774-2255 <http://www.mazroc.co.jp>

## 安全上のご注意

施工前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 用語および記号、絵表記の説明

**注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

**注意** △記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

**禁止** ⊘記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

**強制** ●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

**ポイント** この表示は施工のポイントを示しています。これを行うことで施工しやすくなります。

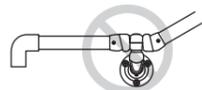
## 注意



禁止

直受フレキシブルブラケットの端部はエンドキャップ納まりにしないでください。

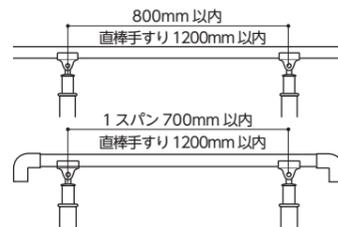
端部エンドは、必ず壁付及び支柱の納まりにしてください。端部の支えが無いと十分な強度を得られず手すりが曲がったり、ねじのゆるみの原因となります。



必ず実行

支柱(ブラケット)ピッチは必ず守ってください。

支柱(ブラケット)の取付けピッチは、2本(個)使いは700mm以内、3本(個)以上使いでは800mm以内、直棒手すりでは1200mm以内としてください。このピッチを守らないと、手すりが曲がったり、ねじのゆるみの原因になります。



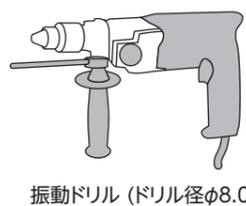
## 施工に必要な工具



電動ドリル



電動ドライバー



振動ドリル (ドリル径φ8.0mm)



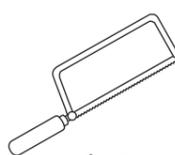
チョークライン



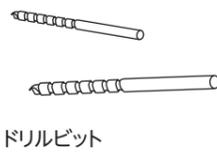
延長コード



コンベックス



金ノコ



ドリルビット  
(φ3.3mm、φ8.0mm)



+ドライバー



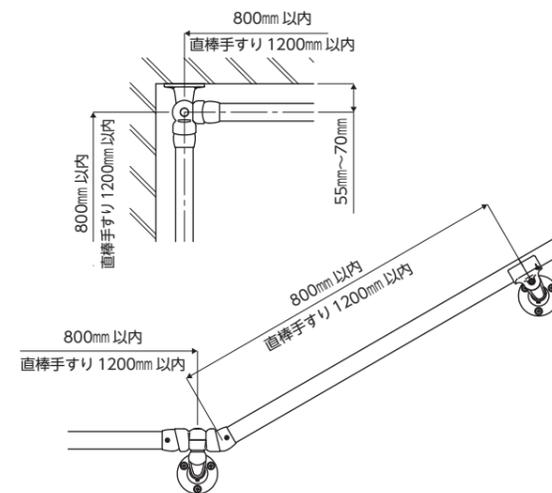
水平器



ヤスリ

## 直受フレキシブルブラケットの取付け方法

**1** 壁際のコーナー部において、下記に基づき直受フレキシブルブラケットを取付けます。



**2** 別紙取扱説明書/施工要領書に基づき、壁付ブラケット(もしくは支柱)を取付け後、手すり棒を仮置きし、左下図に示す各機能を調整しながら直受フレキシブルブラケットに手すり棒を挿入、仮組みします。

※3次元納まりでのベース穴を割り出しにくい時の有効な手段です。

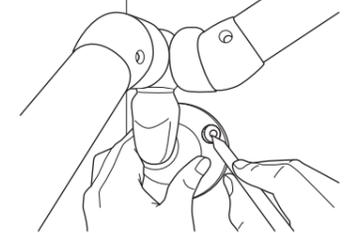


ポイント

調整機能はわずかに動く程度に仮固定しておく、手すり棒と組み易くなります。

勾配の無い納まりの時は、上下の首振り調整を0°の水平に固定し、始めから六角穴付きボルトを本締めしておくとして作業がラクになります。

**3** 直受フレキシブルブラケットと手すり棒を仮組みしたまま、ベースを壁に合わせた状態で、ベース穴3箇所をケガキます。



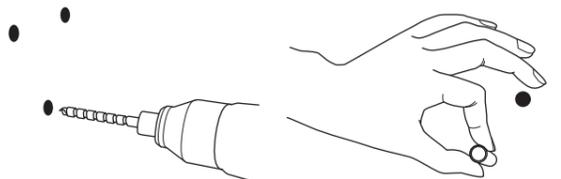
### 注意



お願い

十分な強度を出す為に、直受フレキシブルブラケットと隣接するブラケット(もしくはその他支柱)との距離は800mm以内としてください。また、直棒手すりをご使用の場合は1200mm以内としてください。

**4** 直受フレキシブルブラケットを一度外し、マーキングした3点に振動ドリル(ドリル径φ8.0mm)で深さ45mmの穴を明け、付属のナイロンアンカーMG8を挿入します。



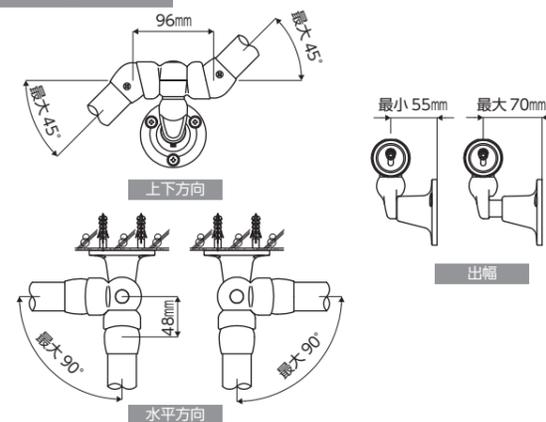
### 注意



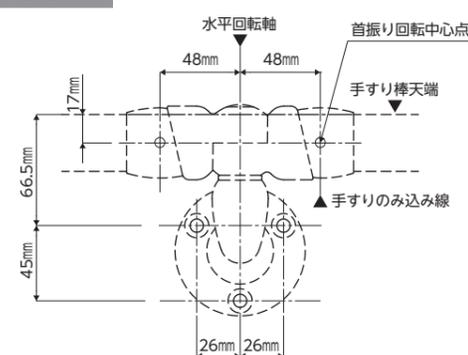
お願い

アンカー穴はナイロンアンカーを挿入する前に清掃して削りくずを取り除いてください。アンカーは壁面より出ないように挿入してください。

### 調整範囲



### ベース穴割寸法



**5** ベースを穴位置に合わせて、ナイロンワッシャを介し、トラスねじで固定します。

